



かわら版

はっこう いわえしょうがっこう おなかつひろみ ぶんせき
2022.11.14発行 岩江小学校 宗像裕美(文責)

がっこう かんきょうきょういくせいび 学校の環境教育整備①



5・6年生の児童のみなさんに、学校で勉強したり遊んだりするときに、「こんなものがあっていいな」「ここは危ないから直してほしいな」などのアンケートを行いました。

その中で、音楽室のバスマスターを直してほしいという意見がありました。音楽室に行ってみるとビックリです。



鍵盤1本上がっている

鍵盤が1本上がっていました。新しいものはすぐに買うことが出来ないし、4年生が三春町音楽祭で使います。すぐにお店に連絡して、直してもらえるようお願いしました。下の写真のように、直してもらうまでには、どんなことがありますか？



お店の人に直してもらってます



部品を交換して直りました

【どんなことがあるか考えてみよう！】

①人・・・直してもらうために、お店に連絡をしたり、直しに来てくれる。

②もの・・・直すために、部品が必要です。

③お金・・・部品だけでなく、人件費もかかります。

④時間・・・②の「もの」や③の「お金」だけではなく、直すためには時間もかかります。

⑤思い・・・練習するのに使っていて壊れてしまうのでは仕方ないです。ふざけていて壊すのは絶対にやめてほしいです。また、次に使う人のことを考えて使ってほしいなと思います。



上記のように、直すためには①～⑤の「人・もの・お金・時間・思い」5つの要素が必要です。例えば、「人」が

いても「もの」がなければ直せません。「もの」があっても「お金」がなければ直すための「もの」を買うことが出来ません。何か1つでも欠けてしまうと直すことが出来ないのです。学校施設・設備については大切に扱ってほしいと思います。ちなみに、今回は、鍵盤1本ですが、1本だけの交換では済まず、鍵盤一式の交換となりました。

いくらかったでしょうか？

17,270円(税込み)

かかりました。(三春町からの学校予算で直し

ました。) もし、鍵盤の部品がなければ、新しくするには、約185,000円かかります。そんな簡単に買うことは出来ません。大切に使いましょう。

